

子ども・子育て支援ニーズ調査から考える墨田区の子ども・子育て支援

相模女子大学 学芸学部・子ども教育学科 浅見 佳子

駒沢女子短期大学・保育科 古屋 真

0. 概要(子ども・子育て支援ニーズ調査を分析して感じたこと)

子育て家庭の「孤立感」や育児に関する「不安・心配」を和らげる支援の大切さ

子どもが「学校が楽しい!」と感じられることの大切さ

今回のニーズ調査では、子どもがいない家庭や個別の課題(特別支援の有無など)を抱えた家庭のニーズが不明

1. 就学前及び小学生の子どもをもつ保護者への支援

□ 主な分析の視点(要因)

・保護者: 調査に回答した保護者の性別(父親・母親)

・子ども: 調査対象の子どもの学年(就学前・小学生)

・きょうだい: 調査対象の子どものきょうだいの有無(有・無)

・家庭状況: 調査対象の子どもの家庭の状況(両親同居・両親別居・父子家庭・母子家庭)

・孤立感: 保護者が子育てするにあたって感じる孤立感の程度(高群・低群)

・子育て感: 子育てに対する保護者の感じ方(楽しい・心配)

・育ち不安: 子どもの発育や発達に関する保護者の不安や悩みの有無(有・無)

□ 結果の見方

・統計的に選択が多い []

・統計的に選択が少ない [▼]

問 8：子どもの数が希望よりも「少ない」と感じている保護者が挙げる理由

理由	要因						
	保護者 (父母)	こども (就前小学)	きょうだい (有無)	家庭状況 (両別父母)	孤立感 (高低)	子育て感 (楽心)	育ち不安 (有無)
育児の経済的負担			・無：▼ ・有：				・有： ・無：▼
育児の体力的負担		・就前： ・小学：▼		・両親： 父母子：▼	・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
育児の心理的負担					・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
年齢的な理由		・就前：▼ ・小学：	・無： ・有：▼	・母子：▼			
仕事との両立		・就前： ・小学：▼			・高： ・低：▼		
上の子育児中の出産の負担	・母： ・父：▼	・就前： ・小学：▼			・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
やりたいことができなくなる			・無：▼ ・有：		・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	
将来の教育費	・母： ・父：▼		・無：▼ ・有：			・楽し：▼	・有： ・無：▼
不妊治療の負担			・無： ・有：▼				
家が狭い			・無：▼ ・有：	・両親： ・母子：▼			

- ・育児の体力的負担：就学前子ども，両親同居，孤立感高群，子育て感心配，育ち不安有
- ・上の子を育児しながらの出産の負担が大きい：母親，就学前子ども，孤立感高群，子育て感心配，育ち不安有

これらの理由を解消すれば（既に子どもがいる家庭の）こどもの人数は増えるのか？

「育児の経済的負担」の境界：世帯年収 1,000 万円以上！？

	2未満	2-3	3-4	4-5	5-7	7-10	10-15	15-20	20以上	合計
選択	21 2.0%	25 2.4%	57 5.4%	61 5.8%	169 15.9%	246 23.2%	189 17.8%	53 5.0%	16 1.5%	837 79.0%
	—	—	—	—	—	—	▼	—	▼	—
未選択	5 0.5%	3 0.3%	8 0.8%	15 1.4%	36 3.4%	56 5.3%	66 6.2%	22 2.1%	12 1.1%	223 21.0%
	—	—	—	—	—	—		—		—

・保護者の年収区分ごとに「育児の経済的負担が大きい」選択・未選択の内訳の変化を分析した結果、

年収 1,000 万円以上の保護者の選択少（▼）及び未選択多（ ）傾向がみられた。

子どもの数が希望よりも「少ない」と感じている保護者が「育児の経済的負担」を選択しなくなる傾向が

年収 1,000 万円以上からみられる

問 3 1：日ごろ、子どもをみてもらえる親族・知人の有無

預け先	要因				孤立感 (高低)	子育て感 (楽心)	育ち不安 (有無)
	保護者 (母父)	こども (就前小学)	きょうだい (無有)	家庭状況 (両別父母)			
日常的に祖父母等の親族にみ てもらえる			・無： ・有：▼	・両親：▼ ・父子：▼	・高：▼ ・低：	・楽し：	
緊急時・用事の際には祖父母 等の親族にみてもらえる		・就前： ・小学：▼	・無： ・有：▼	・父子：▼			
日常的にみてもらえる友人・ 知人がいる			・無： ・有：▼	・両親：▼ ・別居：			
緊急時・用事の際にみてもら える友人・知人がいる		・就前：▼ ・小学：	・無：▼ ・有：		・高：▼ ・低：		・有：▼ ・無：
いずれもいない		・就前： ・小学：▼	・無： ・有：▼	・両親：	・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼

・いずれもいない：就学前子ども，きょうだい無，両親同居，孤立感高群，子育て感心配，育ち不安有

これらの家庭への〔預け先〕の提供

問 3 2：子育てに関して、気軽に相談できる人や場所の有無

相談相手	要因				孤立感 (高低)	子育て感 (楽心)	育ち不安 (有無)
	保護者 (母父)	こども (就前小学)	きょうだい (無有)	家庭状況 (両別父母)			
いる／ある	・母： ・父：▼	・就前： ・小学：▼	・無： ・有：▼	・両親： ・母子：▼	・高：▼ ・低：	・心配：▼ ・楽し：	・有：▼ ・無：
いない／ない	・母：▼ ・父：	・就前：▼ ・小学：			・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼

・いない／ない：父親，小学生子ども，孤立感高群，子育て感心配，育ち不安有

これらの家庭への〔相談相手・場所〕の提供

問37：子育てに関する「現在」の不安や悩みから考える支援

不安や悩みの内容	要因				孤立感 (高低)	子育て感 (楽心)	育ち不安 (有無)
	保護者 (母父)	こども (就前小学)	きょうだい (無有)	家庭状況 (両別父母)			
自分の時間がとれず、自由がない		・就前： ・小学：▼			・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
子育てにおわれ、社会から孤立するように感じる	・母： ・父：▼	・就前： ・小学：▼			・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい	・母： ・父：▼	・就前： ・小学：▼			・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
子育てと親等の介護が同時に発生している		・就前：▼ ・小学：			・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
夫婦あるいは家族の間で子育てについての考え方が違う			・無：▼ ・有：	・両親： 父母子：▼	・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
配偶者の子育てへのかかわりが少ない	・母： ・父：▼			・別居： 父母子：▼	・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
子育てする仲間や知り合いが少ない		・就前： ・小学：▼	・無： ・有：▼		・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
子どもの発達・発達、健康などについて心配である		・就前： ・小学：▼			・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
子どもの生活リズムについて心配である			・無： ・有：▼		・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
子どもの食事について心配である		・就前： ・小学：▼			・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
子どもへの接し方やしつけ等に悩む		・就前： ・小学：▼	・無：▼ ・有：		・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼
子育てに伴う経済的な負担が大きい		・就前：▼ ・小学：	・無：▼ ・有：	・両親：▼ 父母子：	・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	・有： ・無：▼

・子育てにおわれ、社会から孤立するように感じる（5 要因）

・夫婦あるいは家族の間で子育てについての考え方が違う（5 要因）

・配偶者の子育てへのかかわりが少ない（5 要因）

・子育てする仲間や知り合いが少ない（5 要因）

・子どもへの接し方やしつけ等に悩む（5 要因）

・子育てに伴う経済的な負担が大きい（6 要因）

これらの不安や悩みに必ず3つの精神面の要因[孤立感][子育て感][育ち不安]が関連している

問46：子育て情報のニーズ

情報ニーズ	要因						
	保護者 (母父)	こども (就前小学)	きょうだい (無有)	家庭状況 (両別父母)	孤立感 (高低)	子育て感 (楽心)	育ち不安 (有無)
親子で交流できる場や催しに関する情報		・就前： ・小学：▼	・無： ・有：▼	・両親： ・父子：▼	・高： ・低：▼	・心配： ・楽し：▼	
親同士が交流できる場や催しに関する情報		・就前： ・小学：▼			・高： ・低：▼		・有： ・無：▼
子育て相談や講座に関する情報		・就前： ・小学：▼	・無： ・有：▼		・高： ・低：▼		・有： ・無：▼
保育／支援サービスに関する情報	・母： ・父：▼	・就前： ・小学：▼	・無： ・有：▼	・両親： ・父子：▼	・高： ・低：▼		・有： ・無：▼
子育てサークルや団体に関する情報			・無： ・有：▼		・高： ・低：▼		・有： ・無：▼

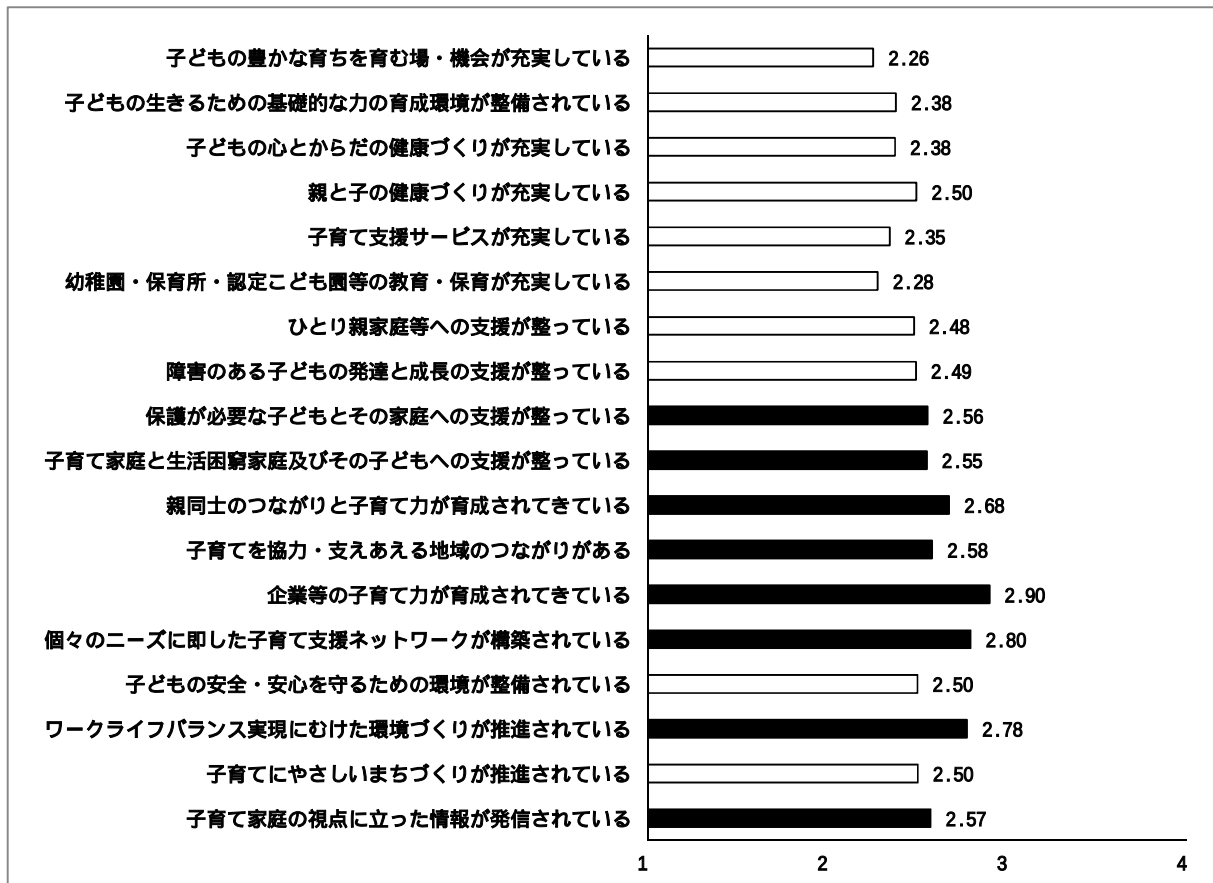
・親子で交流できる場や催しに関する情報（５要因）

・保育／支援サービスに関する情報（６要因）

これらの家庭への〔親子交流の場やイベント〕〔保育／支援サービス〕に関する情報提供が必要

これらの不安や悩みに必ず２つの精神面の要因〔孤立感〕〔育ち不安〕が関連している

問50：墨田区の子育て環境に関する感じ方



「1：とてもそう思う」「2：まあそう思う」「3：あまり思わない」「4：まったく思わない」

（「2：まあそう思う」と「3：あまり思わない」の midpoint（2.50）を「0」と捉える）

平均値が 2.50 以上の項目については改善が求められている。

- ・保護が必要な子どもとその家庭への支援が整っている
- ・子育て家庭と生活困窮家庭及びその子どもへの支援が整っている
- 親同士のつながりと子育て力が育成されてきている（問46）
- 子育てを協力／支え合える地域のつながりがある（問46）
- ・企業等の子育て力が育成されてきている
- ・個々のニーズに即した子育て支援ネットワークが構築されている
- ・ワークライフバランスの実現に向けた環境づくりが推進されている
- 子育て家庭の視点に立った情報が発信されている（問46）

問46の結果と合わせて解釈すると、【**つながり**】【**情報提供**】が子育て支援のキーワードに挙がる



就学前及び小学生の子どもをもつ保護者への支援のキーワード

子育て家庭の「孤立感」

育児に関する「不安・心配」

親子・親同士・地域との「つながり」

子育て支援の「情報提供」

2 . 子ども（小学校4年生～中学生～高校生）への支援

- 主な分析の視点（要因）

・学年：回答した子どもが通う学校種（小学校・中学校・高校）

・きょうだい：回答した子どものきょうだいの有無（有・無）

・学校楽しい：子どもが感じる学校の楽しさの程度（高群・低群）
- 結果の見方

・統計的に選択が多い　[　]

・統計的に選択が少ない[▼]

問16：放課後の行動　中高生のみ

放課後の過ごし方	要因		
	学年 (中高)	きょうだい (無有)	学校楽しい (高低)
学校にいる(部活動やクラブ活動)	・中： ・高：▼		・高： ・低：▼
塾や習い事に行く	・中： ・高：▼	・無： ・有：▼	
友だちと遊ぶ・出かける	・中： ・高：▼		・高： ・低：▼
児童館に行く	・中： ・高：▼		
図書館・コミュニティ会館、図書室に行く			
地域のクラブ活動(スポーツ活動など)をする	・中： ・高：▼		
ボランティア活動などをする		・無：▼ ・有：	
家族といる・出かける	・中： ・高：▼		
ひとりで家にいる・出かける	・中： ・高：▼	・無： ・有：▼	
アルバイト・仕事をする	・中：▼ ・高：	・無：▼ ・有：	

- 学年

・中学生が選択しやすい項目

...学校，塾や習い事，友だち，クラブ，家族，ひとり

・高校生が選択しやすい項目

...バイト
- きょうだい

・きょうだい[い　る]子どもが選択しやすい項目

...ボランティア，バイト

・きょうだい[いない]子どもが選択しやすい項目

...塾や習い事，ひとり
- 学校楽しい

・学校楽しい(高群)子どもが選択しやすい項目

...学校，友だち

・学校楽しくない(低群)子どもが選択しやすい項目

...該当項目なし

問20：家や学校以外で自分の時間を過ごす場所

家や学校以外で 自分の時間を過ごす場所	要因		
	学年 (小中高)	きょうだい (無有)	学校楽しい (高低)
児童館や図書館	・小： ・中：▼	・無：▼ ・有：	・高： ・低：▼
公園や緑地広場	・小： 中高：▼	・無：▼ ・有：	・高： ・低：▼
町会会館などの地域の施設			
地域食堂や子ども食堂			
スポーツクラブや習い事	・小： ・高：▼		・高： ・低：▼
同世代で交流できるスペース			・高： ・低：▼
大学生などの年上の人と交流で きる場	・中：▼ ・高：	・無：▼ ・有：	
特にない	・小：▼ 中高：	・無： ・有：▼	
わからない	・小：▼ ・中：	・無： ・有：▼	・高：▼ ・低：

● 学年

・小学生が選択しやすい場所：児童館，公園，クラブ

・中学生が選択しやすい場所：特になし，不明

中・高生は全体の約 3 割が「わからない」と回答

小学生は全体の約 2 割が「わからない」と回答

・高校生が選択しやすい場所：年上，特になし，不明

中高生の居場所が必要か？

● きょうだい

・[い る] 子ども：児童館，公園，年上

・[いない] 子ども：特になし，不明

きょうだい [いない] 子どもの居場所が必要か？

● 学校楽しい

・高群：児童館，公園，クラブ，同世代

・低群：特になし

学校楽しくない子どもの居場所が必要か？

問 2 2 . 自分自身のこと（自己肯定感）について 中高生のみ

● 学年による違い

・自分のことが好きだ : 高校生 (2.97) > 中学生 (2.65)

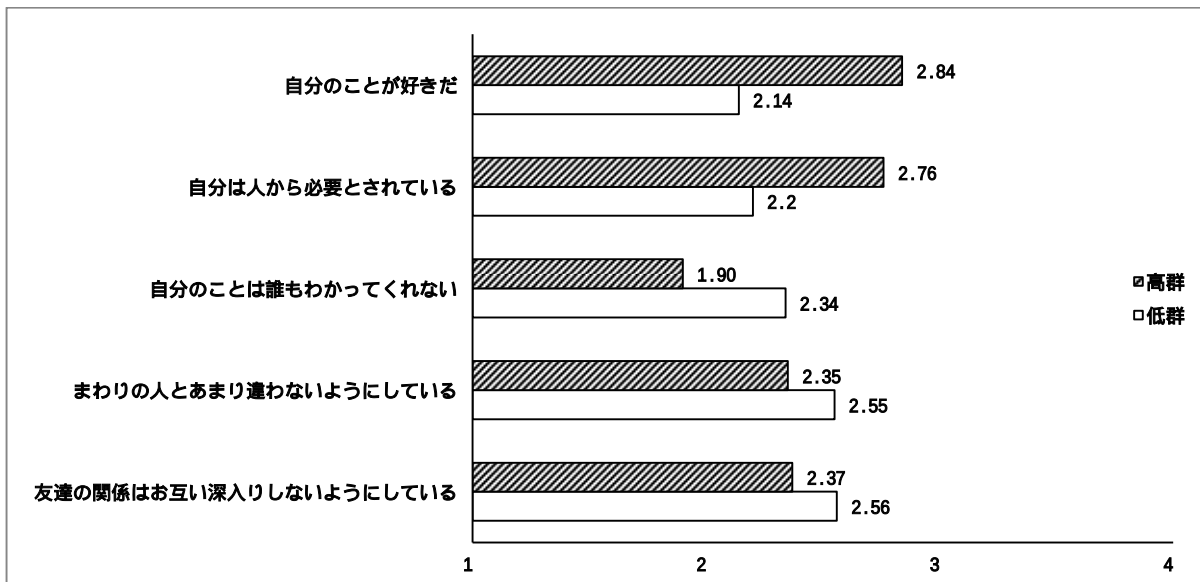
・自分は人から必要とされている : 高校生 (2.82) > 中学生 (2.60)

● きょうだいによる違い

・自分のことが好きだ : いる (2.84) > いない (2.64)

・自分は人から必要とされている : いる (2.75) > いない (2.63)

● 学校楽しい



「1：そう思わない」「2：あまりそう思わない」「3：ややそう思う」「4：そう思う」

(「2：ややそう思う」と「3：あまり思わない」の midpoint (2.50) を [0] と捉える)

全体：中高生ともに自己肯定感は全体的に高い傾向にある

学年：先行研究では、中高生の学年差は青年期前期（思春期）特有の傾向である

きょうだい：不明（先行研究では、きょうだいの年齢・性別。態度により自己肯定感に違いが生じる）

学校楽しい：先行研究では、自己肯定感と学校適応感（学校楽しい）は正の相関がある

学校楽しさ（問12）と生活楽しさ（問23）と墨田区好き（問31）の相関

質問項目	Q12	Q23	Q31	Q22	Q22	Q22	Q22	Q22
Q12：学校は楽しい？	—	0.7 **	0.3 **	0.3 **	0.3 **	-0.2 **	-0.1 **	-0.1 **
Q23：生活は楽しい？		—	0.4 **	0.4 **	0.4 **	-0.3 **	-0.2 **	-0.1 **
Q31：墨田区好き？			—	0.3 **	0.3 **	-0.1 **	0.0 —	0.0 —
Q22：自分好き？				—	0.7 **	-0.2 **	-0.1 **	0.0 —
Q22：自分必要とされてる？					—	-0.2 **	-0.1 **	0.0 —
Q22：自分分かってくれない？						—	0.4 **	0.3 **
Q22：まわりと違わない							—	0.4 **
Q22：友だち深入りしない								—

相関係数（絶対値）の目安「1.0～0.7：かなり強い相関あり」「0.7～0.4：強い相関あり」

「0.4～0.2：やや相関あり」「0.2～0.0：ほとんど相関」

【学校】と【生活】と【墨田区が好き】と【自己肯定感】との関係性

小学生保護者の孤立感（問 3 5 ）と小学生 4 ～ 6 年生の学校楽しさ（問 1 2 ）との相関

- 0.13（ほとんど相関なし）



子ども（小学校 4 年生～中学生～高校生）への支援のキーワード

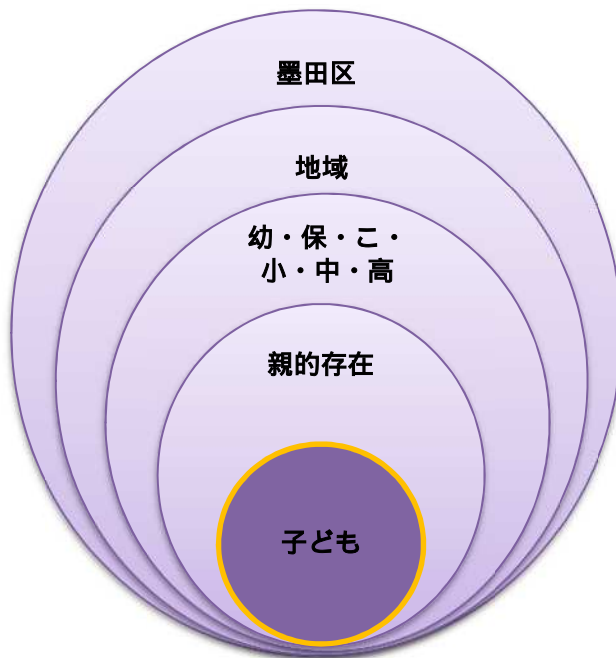
家や学校以外で自分の時間を過ごす場所が「特にない」「わからない」子どもへの支援

学校や生活の「楽しさ」

子どもの「自己肯定感」



3．総括（浅見先生より）



・多様な方法での情報提供

孤立感の強い親ほど、情報を欲している

・人とのつながりを重視した子育て支援

多世代交流や墨田らしい、下町ならではの子育て

・子どもが楽しい

幼・保・こ・小・中・高に自分の居場所がある

→行くことが楽しいと思える保育、教育内容